

医療福祉拠点について

	概 要	スケジュール (予定)	各部署の関わり、連携の視点 (想定)
人材養成機能 (看護人材の確保)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人材養成機能の事業候補者として、学校法人 京都女子学園を選定 ○ 京都女子大学の別地キャンパスとして、拠点 南側エリアに校舎を整備し、看護系学部を開設 予定 (大学[入学定員 80人] + 大学院) ○ 教育理念は「すべてのいのちに寄り添い、慈しみの心で人を支え、地域をつなぐー共生の看護学」(ターミナルケア・グリーンケア教育等) 	R8.2 覚書の締結 ~R8.10 看護学部の詳細検討 R8.10 基本協定・契約締結 施設整備着手 (開設の1年半前 設置認可申請 開設の半年前 設置認可) R11.4 看護系学部開設	[健福] 看護学部開設に向けた全面協力 <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備整備に係る財政支援 ・実習先確保に係る調整 ・学生確保・県内定着に係る施策構築 [教委・子若] 学生確保等に係る県内高校との調整 [総企] 死生懇話会と看護学部の教育理念の 親和性を生かした大学との連携
総合大学とし ての京都女子 大学との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都女子大学は、現在7学部、設置構想中のものも含めると10学部からなる総合大学で、多分野にわたり教育・研究のリソースを保有 ○ 今回の大津キャンパス設置を契機に、地域課題・社会的課題の解決に向けて、県と幅広い分野で連携することに前向きな意向 ○ 大学では、長年、女性地域リーダーの養成や女性の活躍推進に取り組んでおられ、学長や学生の積極的な活動・発信にも定評 	R8.10の基本協定締結に併せて、大学と包括連携協定を結ぶことを目標に検討を進める	[総企] 包括連携協定締結に向けた総合調整 [商労] ジェンダー平等の推進に係る連携 (例：ジェンダー平等ミーティングへの京女学生の参画、京女のリカレント教育のノウハウを活かした展開、滋賀県の女性職員のエンパワメントに向けた学び直し・能力向上 等) [関係部局] ※ 大学からの提案例 <ul style="list-style-type: none"> ・心理・福祉・養護の連携による地域のウェルビーイングの向上 (心理共生学科) ・栄養と食育を基盤とした健康づくり、郷土食を生かした健康食普及 (食物栄養学科) ・ユニバーサルデザインによる暮らしの質と地域環境の向上 (生活造形学科) ・データ活用による地域政策・地域支援の高度化 (データサイエンス学科) ・多世代交流「地域カフェ」 ・アウトオブキツザニア事業 等

	概 要	スケジュール（予定）	各部署の関わり、連携の視点（想定）
賑わい創出・ 県庁周辺の活 性化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民の利用や交流、当エリアを訪れる人（学生、パスポートセンター利用者、関係団体や県庁の職員等）の利便性向上等の観点から、県庁周辺も含めた全体の賑わい創出を検討 ○ 検討に当たっては、現在、懇話会で議論が進んでいる「県庁舎等のあり方検討」や、まちづくりの方向性との整合にも留意 	R8.5頃 賑わいを含めた全体の土地利用の骨格を決定 R9.3 全体の土地利用計画案の策定 ※ 真ん中の土地は、大学の整備が終わるまで工事ヤードとして使用予定のため、賑わいの整備はR11年度以降の着手を想定	[総務] 「県庁舎等のあり方検討」の方向性とのすり合わせ [土木] 全体の土地利用の検討に併せた周辺道路の環境改善、開発許可に係る助言 [関係部局] ・各部署からのアイデア出し ・健康、子ども、学び、図書等の視点での集客施設の検討（当部から個別に相談）
医療福祉セン ター機能 〔（仮称）第二大津 合同庁舎〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和9年度の供用開始に向けて整備中 ○ 今後、入居する関係団体とともに「連携ネットワーク」を立ち上げ、医療福祉分野における新たな展開や、各団体の取組を横断的・一体的に県民に届けること等を検討 	R9 施設の供用開始（ハード） 連携ネットワークによる事業展開（ソフト）	[関係部局] 関係団体の取組への支援、連携事業等への参画

■医療福祉センター機能 （仮称）第二大津合同庁舎

令和9年度供用開始予定

地上6階建て 敷地面積：約2,500㎡ 延床面積：約6,900㎡

【1F】パスポートセンター、ロビー、ホール

【2F】健康危機管理課、コントロールセンター

【3F～6F】医療福祉関係や現在、厚生会館に入居中の約30団体※の事務所

※ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院協会、助産師会、栄養士会、リハ関係団体、遺族会、国際協会、次世代文化芸術センター、おうみ犯罪被害者支援センター、消防協会 ほか

